

# 黒潮流路と沿岸水温について(現況と夏にかけての予測)

## 予測のポイント(概要)

1. 黒潮大蛇行の影響で、熊野灘沿岸は高水温傾向が続いている。
2. 黒潮大蛇行は、解消する兆候がなく、今後も継続する見込み。
3. 黒潮系暖水が熊野灘に流入し、高水温が続きやすい海況。
4. 気象の長期予報では、気温は平年並～高めが予測されている。

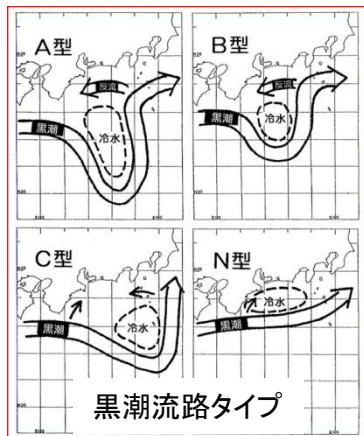
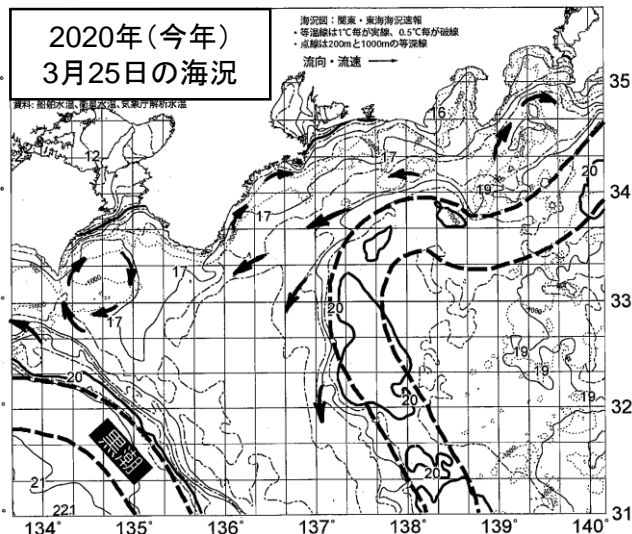
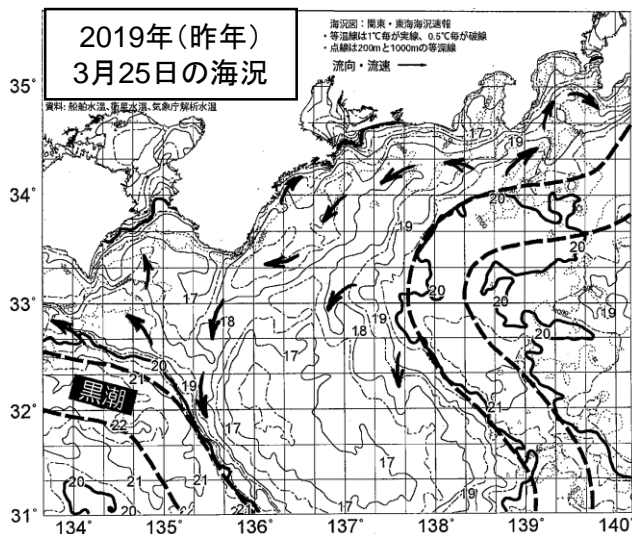
三重県水産研究所

資源管理・海洋研究課

養殖・環境研究課

TEL:0599-53-0016

FAX:0599-53-2225



## 黒潮と沿岸水温の現況(昨年との比較)

- 黒潮はA型(大蛇行)流路(2017年の夏からA型流路が継続中)。
- 潮岬沖の黒潮は大きく離岸(昨年と同程度～さらに離岸が大きい)。
- 遠州灘から熊野灘へ黒潮系暖水の流入あり(昨年と類似している)。
- 熊野灘沿岸は17℃前後で平年より高め(昨年よりはやや低い)。
- ◎ 西日本でも黒潮は離岸(昨年と同様、黒潮大蛇行が続くパターン)。

## ～気象庁3ヶ月予報～ (3月25日発表より)

- 向こう3ヶ月は、暖かい空気に覆われやすい。
- 4月～6月の気温は、東日本では平年並か高い見込み。
- 4月～6月の降水量は、ほぼ平年並の見込み。

## 【海況予測案】3月30日発表予定

- ・ 黒潮は、大蛇行流路(A型)が今後も継続する見込み。黒潮内側反流も断続的に形成される。
- ・ 熊野灘沿岸の水温は、黒潮系暖水の影響を受けて、引き続き高め基調で推移する見込み。
- ・ 気温の影響を受けやすい内湾でも、高め基調が予測され、低水温になる可能性は低い。

## 【まとめ】

黒潮大蛇行が継続することから、熊野灘沿岸の水温は今後も高め基調が予測される。気温の影響を加味しても、低水温になる可能性は低い。